



白杵市長
中野 五郎

光り輝く うすきの未来のために

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。
市民の皆さまにおかれましては、平成26年の初春を健やかに迎えのことと心からお喜び申し上げます。

私は、昨年、2期目のスタートにあたり、「市民力で心のかよいあう安心社会」の実現に向けて、新時代の5つの基盤づくりを政策の柱に掲げ、市政発展のため、情熱と決意を持って取り組んでいます。

昨年は、防災・減災対策として、防災拠点施設となる新消防庁舎の稼働や、防災士の育成など防災体制の連携強化を図っています。市街地の災害への備えとして白杵公園への津波避難ルートを新たに3ルート整備しました。日頃から防災訓練等を通じて、災害に強いまちづくりを推進していきます。

そのためには、地域のつながりや支え合いによるコミュニティの充実が大切です。誰もが希望を持って安心して暮らせるよう、「自助」「共助」「公助」のネットワークが機能する協生のまちづくりを更に前進させていただきます。

少子高齢社会が進む中、新たに「お達者長生きボランティア

制度」を始めました。元気な高齢者が地域貢献活動に参加し、生きがいや喜びを実感しながら介護予防に結びつけ、健康寿命を伸ばし、活力ある長寿社会の実現を目指していきます。

また、観光振興戦略会議から白杵市のこれからの「観光戦略」の提言をいただきました。「白杵らしいおもてなし」を基本理念として、お客様を温かく優しくお迎えするため、豊富な資源の活用やまちの活性化の仕掛けなど、様々な施策が盛り込まれています。今後、官民が一体となつて実現に向け取り組んでいきたいと考えています。

本年は、新たな観光交流施設となる（仮称）白杵市観光交流センターと白杵の歴史・文化の貴重な資料を展示する「白杵市歴史資料館」が開館予定です。白杵の魅力を新たに発信する拠点が誕生します。市民や観光客が集い、学び、交流できる2つの施設を連携させ、賑わい空間をつくり、市民の誇りとなる施設にしていきます。

白杵の魅力を磨き、つくるのは市民の皆さん一人ひとりであります。求めるばかりでなく何ができるかを考え、実践できる市民でありたいと思います。ふるさ

とうすきに愛着と誇りを持ち、笑顔があふれるまちになるよう、光り輝くうすきの未来のために、市民と協働で市政を進化させていきます。

本年が皆さまにとりまして幸多い年でありますことをお祈り申し上げます、年頭のあいさつといたします。

新年あけましておめでとうございます。
市民の皆さまには、今年こそ明るい未来の幕開けとなる希望を持って、新年をお迎えのことと心よりお喜び申し上げます。

私は一昨年6月の議長選挙立候補にあたり、「住みよい白杵」元氣な白杵を目指して、執行部・市民との絆、議員間の和を大切にして、執行部と議会が車の両輪の役割を果たし、議会改革の継続やチェック機能の強化、また市民皆さまの声を聞き、限られた財源を有効活用できる政策を提言していきたい」という所信表明を行いました。

この議長選挙立候補制は、議会運営の透明性を高め、就任後の責任も明確にしようとするもので、その方針に基づき、全力を傾けて議長職を努めてまいりました。

なお、本年4月には現市議の任期が終了し、新市になりました。3回目の改選を迎えます。これまで進めてきた定数削減などの協議により、定数は現行の23名より5名減員の18名となります。こういった議会改革の成果の一方で、18名の議員数で、いかにチェック機能 政策立案機能などを維持強化していくか、



白杵市議会議長
吉岡 勲

市民とともに住みよい まちづくりのために

議会のあり方、議員のあり方についての検討を残された任期の中で行う必要があると考えています。市議会としましては、市民皆さまと協働して充実したまちづくりができるよう、今後とも機能強化、資質向上はもとより、身近で開かれた議会を目指して情報提供についても努めてまいります。

議会活性化の面では、事務事業を議会の目線でチェックして評価するとともに、政策提言に発展させる取り組みを進めています。常任委員会を基本とした部会ごとに事務事業検証を実施したうえで、先進地行政視察での研究成果を取り入れた意見書を昨年12月に市長に対して提出しました。今後の施策に生かしてもらうことを期待しています。

また、「水資源」問題については、水源となる森林の荒廃が極めて深刻であることが明らかになり、一昨年9月に設置した「白杵市水資源調査特別委員会」において調査を行った結果、昨年12月には、市長に「水資源を守る白杵市を創るための提言」として政策提言を行いました。検討部会を含めて2年以上に及ぶ調査研究の成果であります。

里山保全の取組みは、現在、中ノ川地域において路網整備を含めた山林整備事業が進んでいます。白杵市のモデルケースとしてその成功を期待しており、その事業が広がることで、白杵の豊かな自然と水資源を後世に引き継ぐことが可能であります。そのために市民ぐるみで森林を守る活動に発展させたいと考えています。

新春を迎え、市民皆さまにとりまして、実り多い一年となりますことと心よりお祈りし、新年のあいさつといたします。

- 迎春（敬称略）**
- 市長 中野 五郎
 - 副市長 田村 和弘
 - 教育委員会 齋藤 克己
 - 教育委員長 垂井 美千代
 - ほか委員一同
- 選挙管理委員会**
- 委員長 三重野 猛志
 - ほか委員一同
- 監査委員**
- 代表監査委員 稲垣 則夫
 - ほか委員一同
- 農業委員会**
- 会長 疋田 忠公
 - ほか委員一同
- 白杵消防団**
- 団長 小野 孝義
 - ほか団員一同
- 野津消防団**
- 団長 道脇 慎一郎
 - ほか団員一同
- 白杵市自治会連合会**
- 会長 渡邊 博道
 - ほか会員一同

- 謹賀新年**
- 市議会（敬称略）**
- 議長 吉岡 勲
 - 副議長 藤原 一弘
 - 奥田 富美子
 - 大戸 祐介
 - 若林 純一
 - 長田 德行
 - 堀 孝則
 - 山下 幸延
 - 久藤 朝則
 - 内藤 純孝
 - 足立 善己
 - 土谷 桂山
 - 大塚 州章
 - 匹田 郁
 - 大嶋 薫
 - 林 壯一郎
 - 武生 博明
 - 三浦 正行
 - 加茂 千恵子
 - 平川 哲郎
 - 牧 宣雄
 - 首藤 新一
 - 西水 忠夫
- （議席順）

平成24年度に取り組んだ主な事業

○希望

学校施設整備・改修事業	1億3,548万円	市内の小・中学校を施設耐震化し防災機能の強化を図るとともに、施設の老朽箇所を改修し教育環境を整備しました。
臼杵図書館大規模改修設計業務	662万円	図書館の大規模改修に向けて設計を行いました。
保育施設整備事業補助金	1億1,960万円	海辺保育園を改築する保育所施設整備事業に補助金を支出しました。改築により子育て環境の向上が図られました。

○安心

地域地震対策事業	2,368万円	海拔10m以下地域を中心として、海拔表示や避難誘導看板設置にあたり、設置箇所の調査を実施し、地域の実状に沿った箇所(217ヶ所)への看板設置しました。
臼杵公園避難路整備事業	6,955万円	避難路を3ヵ所増設することにより、災害時の避難者の分散が図られ、円滑な避難が可能になりました。
防災拠点施設等整備事業	5億6,693万円	臼杵市の防災拠点として、優れた機能を持つ新消防庁舎が完成しました。

○活力

都市再生整備計画事業(中心市街地の活性化)	1億4,803万円	歴史的遺産を保全しつつ、にぎわいのあるまちづくりに取り組むため、大分銀行跡地を取得し、交流拠点施設の整備に着手しました。
商工・労政振興事業	8,230万円	市内の中小企業の設備投資や経営安定化、個人の生活安定の資金などの借入、企業立地の促進に役立ちました。
農村振興総合整備事業県負担金	5,783万円	ほ場整備、用排水施設整備などにより農作業の効率化が進み、農業生産における生産性の向上が図られました。
次世代を担う園芸産地整備事業	5,008万円	かんしょ、ピーマン、ニラなど推進品目の面積拡大、カボス産地強化が図られました。

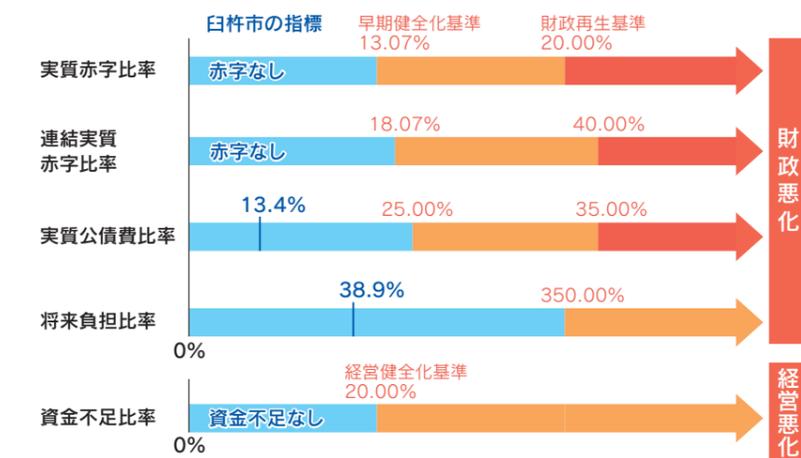
○生活環境基盤整備事業

公共下水道整備事業	1億6,155万円	終末処理場の長寿化計画策定と臼杵地区各所の公共下水道整備を行いました。
港湾整備事業県工事負担金	8,381万円	臼杵湾の海上交通混雑緩和に向けた施設整備事業の進捗が図られました。
周辺部道路整備・道路補修・改良事業	7億3,102万円	市内各所の市道を整備・改良・補修を行いました。
総合公園整備事業	4,798万円	テニスコート横の駐車場が完成しました。また、防災倉庫の建設に着手しました。

臼杵市全体の財政状況指標

平成24年度の決算を基に「地方公共団体の財政の健全化に関する法律(財政健全化法)」の規定による健全化判断比率と資金不足比率を算定しました。臼杵市は、いずれの指標も早期健全化団体や財政再生団体となる基準を下回り、健全段階となっています。

■財政の健全化判断比率と資金不足比率



■用語解説

実質赤字比率
一般会計と一部の特別会計を合わせた赤字の程度

連結実質赤字比率
すべての会計を合わせた赤字の程度

実質公債費比率
公債費(借入金の返済)とこれに準ずる経費の程度

将来負担比率
公営企業会計※、出資法人も含めた将来の支払予定額の程度

資金不足比率
公営企業会計ごとに事業規模からみた資金不足の割合

※水道事業会計、簡易水道事業特別会計、公共下水道事業特別会計、特定環境保全公共下水道事業特別会計、農業集落排水事業特別会計、漁業集落排水事業特別会計、浄化槽整備推進事業特別会計、臼杵石仏特別会計

平成24年度の

問合せ先 財政企画課(内2125・臼杵庁舎)

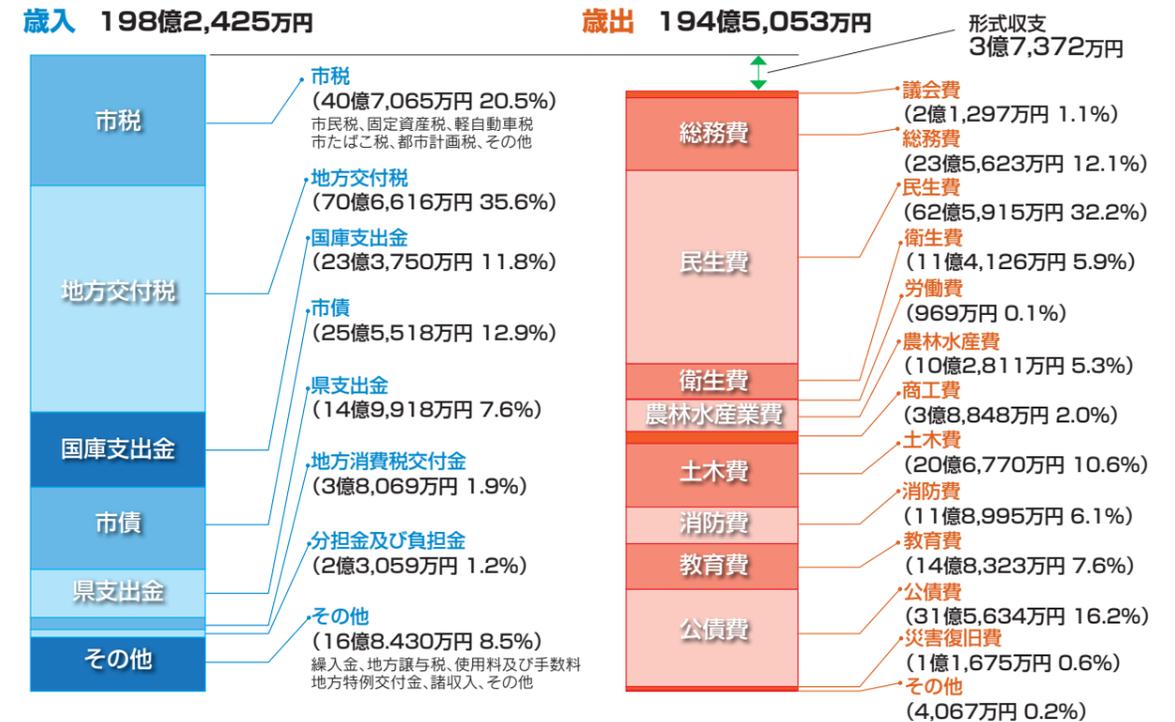
決算をお知らせします

臼杵市の平成24年度歳入歳出決算を行いましたので、決算の概要についてお知らせします。平成24年度一般会計決算は、歳入総額198億2,425万円、歳出総額194億5,053万円となり、歳入歳出差引額(形式収支)は3億7,372万円となり翌年度へ繰り越すべき財源である4,163万円を控除した実質収支額は3億3,209万円の黒字決算となりました。

平成23年度と比べると歳入で、5億7,046万円の減額となりました。主な内容として、市税全体では、2億1,071万円(うち法人市民税が1億4,897万円の減額、固定資産税が1億522万円の減額)の減額、国庫支出金が3億9,492万円の減額となったことが、歳入減少の主な要因です。

歳出においては、平成23年度と比べると5億7,512万円の減額となりました。主な内容としては、昨年度における社会資本整備総合交付金事業の道路整備事業、リサイクルストックヤード整備事業、野津中学校の改築事業が完成したことなどが主な減少要因となっています。一方、防災対策として、防災拠点施設整備事業や臼杵公園避難路整備事業、川登小学校および豊洋中学校の耐震化事業を実施しました。市民の皆さまから非常に要望の多い身近な生活道路、下水路などの整備事業について昨年度に引き続き積極的に取り組みました。

一般会計



市民一人あたりが
負担したお金

10万8,138円

市民一人あたりに
使われたお金

46万4,845円

会計	歳入	歳出	差引
臼杵石仏特別会計	6,024	5,126	898
公共下水道事業特別会計	118,717	116,055	2,662
漁業集落排水事業特別会計	1,087	1,058	29
農業集落排水事業特別会計	11,982	11,671	311
簡易水道事業特別会計	13,462	13,089	373
地域情報化推進事業特別会計	44,081	39,941	4,140
浄化槽整備推進事業特別会計	972	936	36
特定環境保全公共下水道事業特別会計	19,566	18,424	1,142
国民健康保険特別会計	604,752	596,771	7,981
介護保険特別会計	388,465	374,080	14,385
後期高齢者医療特別会計	55,034	54,976	58

(単位:万円)